

令和3年第1回津島市総合教育会議 議事録

1. 日時

令和4年2月4日（金） 午後2時から午後3時15分まで

2. 場所

津島市役所 3階市長公室

3. 出席者

構成員：日比市長、浅井教育長、小出委員、猪飼委員、奥村委員、畑中委員

事務局：市長公室長、教育委員会事務局長、企画政策課長、学校教育課長、指導
主事、社会教育課長、担当職員1人

傍聴者：0人

4. 議事

① 令和4年度予算における主な事業について

② 教育に関する施策の大綱（案）について

③ 津島市教育振興計画（案）について

5. 会議内容

1) あいさつ

（市長あいさつ）

- ・昨日の新型コロナウイルス感染者数は10万人弱であり、1月21日から2月13日まで愛知県まん延防止等重点措置が実施されている。
- ・3回目のワクチン接種券は2回目接種後6か月以上経っている方を対象に昨日現在で、21,800通発送している。順次申し込みいただいております個別接種は1月17日から順次、集団接種は1月22日、29日、2月19日に実施している。
- ・新型コロナウイルス感染症対策としてこれまで96事業を実施し、この2年間で国からの交付金等を活用して総額106億円を投資している。
- ・今回は、「令和4年度予算における主な事業について」に加え、前回は議題とした「教育に関する施策の大綱（案）について」と「津島市教育振興計画（案）について」の3件を議題としている。
- ・「教育に関する施策の大綱」は、本市の教育が目指す基本的な方向性を示す計画であり、「津島市教育振興計画」は、「教育に関する施策の大綱」に基づき、実施していく取組などを定める重要なものである。どちらも前回の会議でい

いただいた意見を踏まえて修正をしたので、ご意見を頂戴しながら、策定していきたい。

(教育長あいさつ)

- ・ここまで日比市長・津島市には教育環境の整備を進めていただいた。エアコンの設置・トイレの洋式化、一人1台のタブレット整備により環境が充実してきた。教育委員会も日比市長が掲げるつしま成長戦略の「子ども子育て応援都市」「防災・減災モデル都市」「健幸都市」に応えるべく、①ICT教育の推進（ツールとしての活用、プログラミング教育へ）、②領事館プロジェクト～名古屋領事館を窓口とする国際交流活動～、③誰一人取り残さない防災学習～防災訓練、防災のデジタルコンテンツ（自助共助防災学習センターの活用）～、④健幸大作戦～健康マイレージと組み合わせるSKIP～をさらに今後も進めていきたい。
- ・市教育委員会としては、①コミュニティスクール～学校運営協議会と地域学校協働活動～、②子どもたちの居場所づくり～市教育支援センター「オアシス」、日本語教室・プレスクール「FUJICA」、就学前相談・教育支援相談の充実～、③郷土愛を育てるふるさと学習「津島の達人ジュニア歴史検定・選手権」にも力を入れていきたいと考えている。
- ・「教育に関する施策の大綱」「津島市教育振興計画」の策定に向けて話し合いを通して、これからの津島の教育の全体像や見通しについて一緒に考えていただきたい。

2) 議題1 令和4年度予算における主な事業について

資料1 令和4年度予算

(市長)

- ・令和4年度予算における主な事業について事務局から説明する。

(学校教育課長)

- ・平成4年度予算は、4月に市長選挙を控えていることから、義務的な経費、継続的な経費及び年度当初からの執行が必要な経費を中心とする「骨格予算」として編成されている。また、予算書作成段階であり、予算の概要の資料を使って説明するが、事業名など変更になる場合がある。
- ・教育委員会にかかる予算は、事務事業費15億6,910万3千円で、対前年比98.4%となっている。
- ・学校教育課所管に係る予算は、8億7,877万円で、対前年度比1,222万5千円の減額、対前年比98.6%となっている。

- ・主な事業として、事務局費の事務管理経費にある GIGA スクール構想関連事業分には、インターネット接続機器等保守点検委託料 36 万 3 千円を計上し、その他に、学校教育指導費の学校教育指導事業の中の授業目的公衆送信補償費 67 万 3 千円は、授業を目的としてサーバー等に教材等を保存して利活用するために、著作者の許諾不要でインターネット等で送信できるようにするためのライセンス制度の費用である。
- ・小学校の学校管理費については、6,136 万 8 千円を計上しており、その中でも、新規として、消耗品費でタブレット用ソフト 458 万 7 千円は、タブレットで使う教材を購入する費用である。同じく新規の備品修繕料 319 万円は、タブレットを故意ではなく破損した場合に修繕する費用である。
- ・中学校の学校管理費については、2,968 万 8 千円を計上しており、そのうち新規でタブレット用ドリルソフトで 269 万 4 千円、備品修繕料 159 万 5 千円を計上している。
- ・今年度と同様に、ICT 支援委託料を、小中学校あわせて 1,000 万円ほどの予算を計上している。
- ・小学校の学校管理費のうち、公共施設等修繕料 2,819 万 4 千円は、学校の校舎などの施設修繕料で、長寿命化改修までの施設の維持修繕を行っていくために、これまでは予算額 600 万円であったが、消防設備やプールろ過機、遊具など法定点検で改善を必要とする箇所などの予算を増額して計上している。中学校の方でも 460 万円から公共施設等修繕料 2,318 万 6 千円を計上している。
- ・同じく小学校の学校管理費の器具購入費 643 万 5 千円は、木製製品充実化事業で、神守小学校の木製のロッカーのささくれ箇所がひどく、一部の教室のロッカーを購入する費用を計上している。
- ・学校教育指導費の地域学校協働本部事業補助金 135 万円は、今年度の 150 万円からの減額になるが、コミュニティスクールの設置（今年度は東小、神島田小、天王中の予定）を進め、充実させていく中で、藤浪中学校が学習支援を中心に行っていくこととなり、藤浪中学校分は、中学校の教育振興費にある、地域未来塾事業委託料に移行し、97 万 2 千円から 145 万 8 千円に増額して計上している。
- ・学校給食共同調理場費において、新規は備品修繕料 429 万 6 千円のうち、厨房機器修繕分 290 万 5 千円で、神守・暁両調理場は平成 26 年 9 月から稼働しており、厨房機器保守点検において、要注意や部品交換が必要と報告された機器の修繕費用を計上している。
- ・最後に学校教育課としての重点事業として、GIGA スクール構想の推進関係で

総額 9,252 万 1 千円、教育の国際化の推進関係で国際理解教育事業 271 万 9 千円は JET プログラム事業であるが、国際理解教育において、愛知県内にある領事館と連携して講演会や教室などを行ってきたが、今後は「領事館プロジェクト」として進めていく予定である。

- ・小中学校において、毎月 19 日の「家庭防災の日」を捉えた防災教育とあわせて、防災に関する講演会を実施する防災教育事業 3 万 9 千円などを予算計上している。
- ・令和 3 年度の国際理解教育は、県内の領事館のうち 3 領事館（ペルー：北小（コロナで中止）・カナダ：蛭間小・韓国：高台寺小）と連携して、外国の文化に触れる機会を創出し、多文化共生や国際理解を深めることができた。

（社会教育課長）

- ・令和 4 年度の社会教育課の予算案については、2 億 7,599 万 1 千円を計上した。令和 3 年度と比較すると、1,269 万 9 千円の減額、前年度比 4.4%の減額である。
- ・主な事業内容として、社会教育総務費 3,806 万円は、市民大学講座、文化祭美術展等の社会教育・文化振興事業が 296 万 3 千円、文化財保護事務 1,458 万 4 千円は、堀田家住宅や氷室作太夫家住居の日常的に必要な管理費のほか、令和 3 年度中に発生した堀田家住宅での毀損（漆喰が剥がれ落ちた）部分等を修繕するための費用として 378 万 1 千円、市内の指定文化財に対する補助金として、文化財修理費補助金 230 万 7 千円を始め文化財保護に関する事務費を計上している。
- ・放課後子ども教室推進事業 1,730 万 7 千円は、311 万 1 千円の増額、前年度比 21.9%の増となっている。令和 4 年度は、参加日数は令和 3 年度同様週 1、2 回に限定し、感染症対策を行いながら 1 日当たりの参加者を増やしての開催を予定しており、協働活動支援員を増員して対応する。
- ・図書館費 1 億 556 万 8 千円のうち、8,508 万 5 千円は指定管理委託料、図書購入費は 767 万 3 千円のほか、雑誌や児童図書を消耗品費に予算計上している。
- ・公民館費 286 万 2 千円は、公民館教室・講座の開催に伴う講師謝礼 54 万円のほか、施設の維持管理費用である。
- ・生涯学習センター費 3,389 万 3 千円は、施設・設備の維持管理、運営費用である。
- ・保健体育総務費 1,728 万 2 千円は、各種スポーツ大会やスポーツ教室を実施するため各種大会等運営事業として 672 万 5 千円、事務管理経費 1,055 万

7千円の主なものはスポーツ協会補助金 894万6千円、スポーツ少年団補助金 26万円などスポーツ団体への補助金などスポーツ振興に係る経費を予算計上している。体育施設費 7,832万6千円の主なものは、教育・体育施設及び都市公園指定管理委託料 7,618万6千円である。

(猪飼委員)

- ・前年度より減額になっているが、市長や教育長の肝いりの事業はあるか。

(市長)

- ・昨年度、一人1台タブレットを整備し、令和3年度にはコロナ禍でオンライン授業になる可能性を考慮し、持ち帰り用のケース等も購入した。また、市独自でICT支援員を派遣したことも好評であった。次は、領事館プロジェクトで小中学生全員に国際感覚を身につけていただきたい。

(教育長)

- ・一人1台タブレットのおかげで学級閉鎖になっても、タブレットを持ち帰ってドリル学習ができるようになった。プログラミング学習などもう一段上の段階にどうつなげていくかがこれからの大きな課題である。
- ・領事館プロジェクトで国際理解教育というのが、一つの大きい柱になってきていると思う。来年度以降、領事館プロジェクトをプラスアルファして、中学生も巻き込んで考えていきたい。

3) 議題2 教育に関する施策の大綱(案)について

資料2 教育に関する施策の大綱(案)

(市長)

- ・平成27年に策定した「教育に関する施策の大綱～豊かな心と文化を育むまち～」が計画期間の満了を迎え、新たな教育に関する施策の大綱を策定する必要がある。前回の会議での意見を踏まえ、修正した内容を事務局から説明する。

(学校教育課長)

- ・教育に関する施策の大綱(案)については、前回の第1回総合教育会議において、現行の教育に関する施策の大綱は、日比市長在任中に策定したものであり、体制に変わりないため、現行の教育大綱を維持しつつ、国の教育振興基本計画、市の総合計画、社会情勢や事業実施の実態に即した内容とするための修正や加筆を行う形とした。
- ・委員の皆様からは、内容について、概ねご了解をいただいたが、教育に関する施策の大綱、津島市教育振興計画(案)に基づいて、児童生徒に教育を実施する学校現場の先生、校長先生にも目を通していただき、語句や表現など

の意見をいただいた箇所、修正した方がいい箇所やこれからの津島市の教育に関する取り組み部分を修正した。

- ・本市教育の基本理念(2 ページ)の部分において、「これまで」の言葉を削除し、育てたい人間像は、教育長の津島市の子どもたちへの思いを込め、津島っ子を加筆した。知徳体の部分は、生きる力は、知・徳・体のバランスのとれた力で、その内容は、道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること、ととらえて、順番を変えている。
- ・3 ページ大綱策定の趣旨の部分で、国や市の上位計画を参酌する内容なので、津島市教育振興計画は削除とした。
- ・4 ページ目指す教育の方向性の部分において、目標 1 学校教育の最下段、適応指導教室については、今後相談体制を充実させていくこととしており、教育支援センターとしていくことから加筆修正した。目標 2 環境整備の三つ目の黒丸、特別支援教育(教育支援)の取組のことを加筆し、語句を整理した。目標 3 能力育成の一つ目の黒丸、国際交流において領事館との交流事業は、これまで、県内の領事館のうち、3 つの国の領事館と、市内の 3 校の小学校で交流をおこなってきたが、今後、交流する国や学校を拡大していくことを踏まえて、領事館プロジェクトとして取り組んでいく予定であり加筆した。二つ目の黒丸、超スマート社会は、1 ページの、はじめに、で全体の考え方として表記しているため、削除した。三つ目の黒丸は、歴史選手権を加筆した。
- ・目標 4 地域連携の一つ目の黒丸、コミュニティスクールのことをわかりやすくするために、またそれぞれの地域の実情があること、地域社会と、加筆した。
- ・6 ページ方針Ⅲのタイトルと内容の部分について、活用を図っていること、検討していることがあるため活用の言葉を加筆、また、市民の関心を高めと修正した。
- ・7 ページ上段の枠の「だれ」を漢字表記とした。豊かな人間性とよりよく生きる力を身につけた人のあとに「(津島っ子)」を加筆する。
- ・大綱のサブタイトルについて、案 1 として対象年度を案 2 として市の育てたい人間像の言葉を案としてあげましたが、どちらがよいか。

(猪飼委員)

- ・津島っ子や領事館プロジェクトは分かりやすく、インパクトもありとても良いと思う。

(小出委員)

- ・第 5 次津島市総合計画、教育に関する施策の大綱、津島市教育振興計画の 3

つはどういう関係なのか。

(学校教育課長)

- ・すべての計画の基本となる総合計画を津島市が策定し、教育の部分について教育委員会において大綱で方向性を表し、教育振興計画で具体的な内容を示している。

(小出委員)

- ・それぞれの期間はいつまでか。

(学校教育課長)

- ・総合計画は令和3年度から12年度までの10年計画、大綱と振興計画は令和3年度から7年度である。

(奥村委員)

- ・最初に大綱を目にした時より、ひとつひとつ進んでいるという実感がある。スポーツの大会の中止や修学旅行もそうだが、子どもたちが集うことに関してはマイナスの面もあったが、今年はコミュニティスクールの導入や、コロナ禍でGIGAスクールが進んだりした。

(学校教育課長)

- ・ご意見がなければ、大綱のサブタイトル部分を案2にしたいと考えているかどうか。

(委員)

- ・良いと思う。

4) 議題3 津島市教育振興計画(案)について

資料3 津島市教育振興計画(案)

(市長)

- ・平成26年度に策定した「津島市教育振興計画」の計画期間の満了及び教育に関する施策の大綱の見直しに伴い、前回の会議での意見を踏まえ、修正した内容を事務局から説明する。

(学校教育課長)

- ・1ページの一文目が、です、ます調になっていたのを修正した。
- ・方針のタイトル部分の活用と基本方針の津島っ子、を加筆し、下の丸枠の家庭・地域のところで、連携・協働し支援になっていたのを、連携・協働に修正した。
- ・3ページについて語句の整理と、項目の見出しをカタカナから数字の①とし、(ウ)外国語教育推進事業のところ、県内にある領事館と修正し、総合学習の発表を加筆した。

- ・(オ)の二学期制の充実で、取組の内容の部分を加筆した。
- ・②豊かな心の育成の(エ)豊かな心を育てる活動に、二学期制を生かした取組を加筆した。
- ・(オ)は認定こども園を加筆し語句の整理をし、二学期制の充実は先ほどの確かな学力の項目にあるため削除した。
- ・5ページの(イ)健康教育には、がん教育の取組など、命のことを考える取組をおこなっており、命の授業を加筆した。(ウ)体力・運動能力の向上に、これまで取り組んできた、SKIP総合的な子どもの基礎体力向上大作戦の取組を加筆した。
- ・④その他で、(ア)中の生徒指導カウンセラーをスクールカウンセラーとし、(イ)については教育支援センターの充実と不登校指導員の配置を加筆した。(ウ)は日本語初期指導の充実とし、日本語教室「FUJICA」について加筆した。
- ・6ページの(2)目標達成のための重点事項の朱書き部分は、語句の整理と大綱に合わせるための加筆・修正をした。
- ・7ページの(イ)コミュニティの連携については、実際に連携している祭りを加筆し、その他は語句の整理で修正した。
- ・8ページ②の青少年の健全育成と③の歴史・文化・の保護・継承・活用は語句の整理と大綱に合わせた加筆修正をした。
- ・9ページは項目の表記を修正した。

(奥村委員)

- ・新型コロナウイルス感染症はいつか終息すると思うが、まだ今後オンラインの授業が進むかもしれないし、GIGAスクールに力を入れているならもう少しアピールしても良いと思う。

(学校教育課長)

- ・6ページの(2)(ア)に記載しているが、3ページ目の「確かな学力の育成」のところにタブレットの活用のことを明示したい。

(猪飼委員)

- ・世の中のスピードが速くなっていて、特にDXのこれからの5年間は過去の5年間と比較にならないスピードで進んでいくと思う。

(市長)

- ・マッキンゼーが2030年までに世界の4億から8億人の雇用が自動化によって失われると言っている。日本は新たな能力を身に付けるためのリスキリング、学習・学び直しが急務である。2030年までに自動化で代替えられる雇用の比率は、日本は大きくて55%強。デジタル化を嫌がっていると世界で完全

に追い抜かされてしまう。

- ・今の子どもたちは、否が応でも世界競争に巻き込まれてしまう。教育も明日を豊かに幸せに生きるためには、これをどうしても覚悟しなければならない。待ったなしで市の方もやっている。この議論を避けて明日を担う子どもたちを作り上げることは出来ない。私は本当に危機感を持っている。
- ・デジタルを切り口に、子どもたちがプログラミングは面白いと思えるように導きたい。

5) その他

(企画政策課長)

- ・総合教育会議は、例年、年2回程度開催しており、次回は、夏頃を予定しており、日程が決定次第、教育委員会を通じて連絡する。